

(付 録 資 料)

1. 業務委譲の実施状況
2. プロジェクト実施ガイドライン

プロジェクト事業実施指針（1992.4）

目 次

- I. 事業実施指針作成の目的
- II. 事業実施に当たっての基本的な考え方
（JICA事業の基本方針）
 - 1. 事業の目的
 - 2. 事業実施機関としての事業団の基本的な考え方
- III. プロジェクト発掘・形成のための配慮事項
- IV. 事業実施に当たっての配慮事項（プロジェクトの実施）
- V. 評価に当たっての配慮事項
- VI. フォローアップ協力の実施

プロジェクト事業実施指針

I. 事業実施指針作成の目的

現在、開発途上地域においては、一部に経済開発が急速に進展しつつある諸国が見られるが、大部分の諸国は依然として累積債務問題等による経済の停滞、貧困問題等の開発上の多くの課題を背負ったままである。開発途上地域からの協力ニーズが益々多様化しつつある状況において、開発援助のより効果的な実施を図るために、開発途上諸国の経済政策改善への支援、参加型開発の推進、人作り等が重視される一方、環境問題等地球的規模の開発課題への取組みが重視されつつある。このような開発課題への積極的な取組みは、今や指導的な援助大国となった我が国にとり、益々重要になって来ている。それに伴い開発途上国の人材養成を中心とする我が国の国際協力に主要な役割を担う国際協力事業団（以下「事業団」と言う。）の責務も従来にも増して大きなものとなって来ている。

このような認識の下に、本プロジェクト事業実施指針は、事業団の国際協力事業のより一層効果的な実施を図るため、事業団の多岐にわたる事業のうち、特にプロジェクト方式技術協力、開発調査、無償資金協力の3形態の「事業実施に当たっての基本的な考え方」、「プロジェクト発掘・形成のための配慮事項」、「事業実施に当たっての配慮事項」、「評価に当たっての配慮事項」等を定めるものである。

II. 事業実施に当たっての基本的な考え方（JICA事業の基本方針）

1. 事業の目的

事業団の事業の目的は、国際協力事業団法に「開発途上にある海外の地域（開発途上地域）の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資すること」と定義されている。

2. 事業実施機関としての事業団の基本的な考え方

前号1の目的を達成するため、援助実施機関である当事業団は我が国政府の基本的援助政策を十分に踏まえ、次の基本的な考え方に基づきその事業（以下「プロジェクト」と言う。）の実施に当たることとする。

- (1) 事業団の分野別及び国別援助研究の成果を十分に配慮しつつ、相手国の社会経済開発政策と当該プロジェクトとの整合性を念頭に置き、相手国の真のニーズに合致したプロジェクトの実施に努める。
- (2) 当該プロジェクトが属する分野における当該プロジェクトの位置付けを確認する。
- (3) 当該プロジェクトが協力期間終了後においても、自立的に、かつ持続的に発展が可能となるように協力目的を明確にし、協力実施計画を策定する。
- (4) 相手国及び当該プロジェクトの実施予定地域の社会・経済的発展段階並びに文化・伝

統等に十分配慮しつつ、当該プロジェクトの実施に努める。

- (5) 当該プロジェクトの計画、実施、事後評価を通じて、環境、開発と女性、貧困、人口等の地球的規模の開発課題に十分に配慮したプロジェクトの実現に努める。特に環境保全プロジェクトの積極的な発掘・形成に努めるとともに、各プロジェクトの実施に当たっては環境配慮に努める。
- (6) 相手国関係者との協議を十分に行い、真の受益者のニーズを見極めつつ、可能な限り受益者たる地域住民の参加を重視した実施計画の策定を行う。
- (7) 我が国の他の援助関係機関及び民間援助組織並びに先進国援助機関及び国際援助機関等との調整、連携・協力の強化に努める。
- (8) 人材、資金、技術等の最適かつ効果的な投入による最大限の効果の発揮に努める。
- (9) プロジェクトの発掘・形成、審査、実施、モニタリング、評価等プロジェクトの全過程を総合的に一貫して管理し、国際協力の一層の効果的実現に努める。

Ⅲ. プロジェクト発掘・形成のための配慮事項

前項Ⅱの基本的な考え方にに基づき、下記の各号に留意しつつ優良プロジェクトの発掘・形成に努める。

(1) 開発政策上の優先順位の確認

相手国の社会経済開発政策における候補プロジェクトの位置付け、優先順位実施に当たっての財政支援等に関する中・長期的な政策を踏まえ、実現可能な協力計画を作成する。(必要に応じ当該プロジェクトに関する暫定代替案を作成する。)

(2) 目標・目的の明確化

プロジェクト協力期間中のみならず協力終了後の持続的発展期間においても我が国及び相手国双方からの人員、資金を含む投入資源の限界を見極め、達成可能な目標・目的を設定する。また、この中で最終受益者を可能な限り明確にする。

(3) 自助努力による開発の支援

相手国が我が国の協力によって移転された技術等により、自らの力で人材の養成、技術等の開発・普及や調査・研究を維持し、かつ発展し得るように、当該プロジェクトに可能な限り多くの相手国関係者を参加させるとともに、相手国自身による当該プロジェクトの実施・運営を奨励し、かつそれを支援する。

(4) 持続的発展の重視

事業団の協力によるプロジェクトの所期の目的が達成され、かつその波及効果が持続的に維持され、更に発展が可能となるような計画の策定に努める。

(5) 運営管理・組織の確認

当該プロジェクトの実施を担当する機関の運営管理能力、更には関係機関との連携・協

力の可能性を十分に見極める。

(6) 財政負担能力の確認

当該プロジェクトの実施・運営に必要な経常経費等の負担能力を十分に見極める。

(7) 適正規模及び適正技術水準の確認

相手国の社会・経済の発展段階に合致した現実的な協力目標と目的（当該プロジェクトの内容、規模、技術水準、協力期間等）を設定する。その際、相手国の財政負担能力及び技術水準等も十分に考慮し、それらに合致した適正技術の移転計画又は施設の整備計画の策定に努める。

(8) 社会・文化・伝統の尊重

相手国の社会・文化・伝統等を尊重しつつ、それらと調和のとれた協力計画を策定する。

(9) 地球的規模の開発課題への対応

プロジェクトの協力計画の策定に当たっては、下記により可能な限り環境、女性と開発（以下「WID」と言う。）、貧困、人口等への配慮に努めるとともに、これら課題のためのプロジェクト形成に努める。

〔環境〕

ア 当該プロジェクトの計画策定に当たっては初期の段階から環境の観点を考慮に入れ、自然環境と調和のとれた協力計画の策定に努める。

イ 前号を確保するため、可能な限り計画策定段階から環境専門家を同策定作業に参加させる。

ウ 相手国の環境管理の能力向上を図るため、人材養成、組織強化等への協力に努める。

エ 環境保全のための協力を積極的に実施する。

〔開発と女性〕

ア 当該プロジェクトの協力計画作成に当たっては受益者としての女性に、かつ開発の担い手としての女性に留意するのみならず、開発のプロセスへの女性の参加に配慮する。

イ 前号を確保するため、可能な限り初期の計画策定段階からWID専門家を同策定作業に参加させるとともに、同専門家の一層の活用を図るための計画策定に努める。

ウ 相手国のWID関係者の養成を図るための協力計画の策定に努める。

エ 可能な限り当該プロジェクトへのWIDの組み入れに努める。

〔貧困〕

ア 当該プロジェクトの計画策定の初期の段階から貧困への配慮を行う。

イ 相手国の地域間、階層間の経済的較差に留意し、貧困層の民生向上に資する協力強化に努める。

IV. 事業実施に当たっての配慮事項（プロジェクトの実施）

各形態の事業を実施するに当たっては前項Ⅲの配慮事項を踏まえ、下記の各号に配慮し、効果的効率的な実施を図る。

(1) プロジェクト方式技術協力

本事業は1)専門家の派遣、2)研修員の受け入れ、3)機材供与の3つの協力形態を総合的に組み合わせて、1つの事業として実施するものである。

ア 相手国の社会経済開発政策における当該プロジェクトの位置付け、役割を十分に念頭に置いて実施計画を作成する。

イ 相手国の当該プロジェクトを担当する機関の運営管理能力・組織等を十分に把握し、実現性のある実施計画を作成する。（必要に応じ相手国の運営管理能力の強化策を検討し、計画に組み込む。）

ウ 当該プロジェクトを維持・運営するための相手国の財政負担能力を十分に把握し、その能力に沿った運営計画を作成する。（必要に応じ協力規模の再検討並びに事業団によるローカル・コスト支援の可能性を検討し、計画に組み込む。）

エ 相手国の開発目標及び当該プロジェクトの目的、規模、内容、成果、外部条件等を明確にし、実施に当たっては適切なモニタリングを行い、プロジェクトの全過程を総合的に管理するよう努める。

オ 事業実施に当たっての相手国のとるべき諸措置、例えば予算措置、カウンターパートの配置、関係機関との連携等を事前に把握の上、相手国と十分に協議し、それらに関し必要に応じ相手国の適切な措置を求める。

カ 討議議事録（R/D）は前項Ⅱ及びⅢ並びに前各号に十分配慮し、作成するものとする。

キ 合意された前記カの内容に照らし、協力事業の進捗を正しく把握し、計画に沿った事業の円滑な実施を阻害する要因がある場合には、実施計画の修正等適切な対応を検討する。

ク より効果的な事業を実施するため、必要に応じ我が国の他の協力事業との連携、あるいは国際機関、二国間援助機関等との事業との連携に努める。

ケ 当該プロジェクトの進捗を的確に把握し、終了時には原則として相手国との合同評価を行う。

(2) 開発調査

開発調査は、相手国政府が当該開発事業を実施するに当たって、その判断資料となる計画等を提案するものである。

ア 相手国の社会経済開発政策における当該調査の位置付け、優先順位、調査結果の実現若しくは有効活用等を十分に検討の上、調査計画の妥当性を検討する。

- イ 相手国の開発目標及び当該調査の目的、規模、内容、成果、外部条件等を明確にし、調査実施に当たってはモニタリングを行い調査の全過程を総合的に管理するよう努める。
- ウ 環境配慮の充実に図るため、事前調査の段階で適切なスクリーニング、スコーピングを実施し、本格調査において適切な環境インパクト調査の実施に努める。
- エ 調査実施の過程においてカウンターパートへの技術移転に努める。
- オ 調査実施に当たっての相手国の取るべき諸措置、即ち予算措置、カウンターパートの配置、調査機材の迅速な通関手続きの実施等を事前に相手国と協議し、可能な限り正確に把握すると共に、それらに関し、必要に応じ相手国の適切な改善措置を求める。
- カ 調査業務実施細則（S/W）は、前項Ⅱ及びⅢ並びに前各号に十分配慮して作成するものとする。
- キ 合意されたS/Wの内容に照らし、調査事業が計画に従って円滑に進捗するよう努めるとともに、同事業の円滑な実施に阻害要因があれば、それらに適切な対応措置をとる。
- ク 調査事業の効果を高めるため、必要に応じ我が国の他の協力事業との連携あるいは国際機関、二国間協力援助機関等との連携に努める。

(3) 無償資金協力

無償資金協力事業は、相手国に対し返済義務を課さない資金を供与するものである。事業団の業務は同事業の実施に際し、施設の建設及び資機材の調達を行うために必要な基本設計調査等の事前の調査を行うこと及び同施設の建設等のプロジェクトの実施の促進に必要な業務等を行うものである。

- ア 事前の調査に際し、相手国の開発目標及び当該プロジェクトの目的、規模、内容、成果、外部条件等を明確にし、供与される施設等が相手国の経済社会状況に最適な規模、内容となるよう配慮する。
- イ プロジェクトの実施が円滑に行われるよう、事前の調査に際し、相手国の取るべき諸措置、即ち無償資金協力受け入れのための相手国における諸手続きの迅速な実施、建設地等の確保、予算措置、資機材等の迅速な通関手続きの実施等に関し、相手国と十分に協議する。上記諸措置の確保のために、必要な場合、相手国に適切かつ迅速な措置を求める。（同協議結果を討議録として取りまとめる。）
- ウ 政府間で署名された交換公文（E/N）の内容に照らし、建設等の業務が計画に従って円滑に進捗するよう努めるとともに、同事業の円滑な実施に阻害要因があれば、それらに適切な対応措置をとる。
- エ 事前の調査等に際し、プロジェクト方式技術協力その他の技術協力との連携の可能性を検討し、建設された施設等が効率的、効果的に使用され、無償資金協力が相乗効果を得られるよう調整に努める。
- オ 建設等の業務の終了時に可能な限り相手国との合同評価を行うとともに、その後のフ

フォローアップ協力についても必要に応じ、適切な措置を検討する。

V. 評価に当たっての配慮事項

評価はプロジェクトの計画や実施が効率的に行われ、期待された結果を実現したかについて調査・分析することにより、教訓を学び取り、協力の質的改善を図る目的で活用されるものであり、中間評価、終了時評価、事後評価の各段階において以下の各号に配慮し、評価を実施する。

(1) 評価事業の実施に当たっては、自ら行うものに加えて、可能な限り相手国との合同評価及び外部有識者による評価を行い、客観性かつ信頼性の高い評価結果が得られるよう努める。

(2) プロジェクトの評価は、以下の基本項目について行う。

ア 妥当性

妥当なプロジェクト選定、計画になっていたかどうかの検討。

イ 目標達成度

当初計画された達成目標と対比して実現された結果を検討し、かつその成果がもたらされた諸要因、諸条件の分析。

ウ 効率性

上記の諸成果の実現のためにとられた手段・方法・期間・費用等の評価

エ 自立発展性

プロジェクトの自立度、持続性を運営・管理面、経済・財務面、技術面、その他の諸側面から評価。

オ 効果

相手国における開発効果（環境、その他社会的側面等を含める。）の分析。

(3) 中間評価、終了時評価、事後評価等で得られた効果の高い評価情報をフィードバックすることにより、今後の事業の計画・実施に反映される。

VI. フォローアップ協力の実施

当該プロジェクトの効果を一層高めるため、前項の評価の結果、必要と認められた場合には、可能な限りフォローアップ協力をを行い、その持続的効果の確保に努める。

GUIDELINES FOR PROJECT IMPLEMENTATION

Contents

I. Purpose of the Guidelines

II. Principles of Project Implementation

(Principles of JICA's Activities)

1. Objectives of JICA's Activities

2. Principles of JICA as an Executing Agency

III. Special Considerations for Project Identification and Formulation

IV. Special Considerations for Project Implementation Stage

V. Special Considerations for Evaluation

VI. Follow-up Cooperation

GUIDELINES FOR PROJECT IMPLEMENTATION

I. Purpose of the Guidelines

While some of the developing countries have achieved remarkable economic progress, most of them still labor under economic stagnation due to accumulated debts, poverty and other problems. Given that the requests of developing countries for economic and technical cooperation have become thus diversified, while support for economic policy reform, promotion of participatory development, and development of human resources in developing countries are considered important, the question of how we should address such global development issues as environmental protection have also become crucial for more effective development assistance. Active involvement in these key development issues is becoming more and more important for Japan which is now one of the leading donor countries. In these new circumstances, the responsibilities of the Japan International Cooperation Agency (JICA), which plays a major role in Japan's international cooperation, including human resources development in developing countries, have become ever heavier.

Being well aware of this situation, and for more effective execution of our activities, we have set up the following guidelines, which include "principles of project implementation, special considerations for project identification and formulation, project implementation and evaluation", focusing on three types of JICA's activities : project-type technical cooperation, development studies, and grant aid program.

II. Principles of Project Implementation(Principles of JICA's Activities)

1. Objective of JICA's Activities

The objective of JICA's activities is defined by the Japan International Cooperation Agency Law as follows:

"To contribute to the socio-economic development in developing regions and to the promotion of international cooperation. "

2. Principles of JICA as an Executing Agency

To attain the objective mentioned above, JICA as the aid executing agency of the Government of Japan implements projects in accordance with the following principles,

paying full attention to the basic aid policies of the Government.

- (1) JICA will implement projects which are based on the real needs of its partner countries, giving full consideration to its country and sector studies and to the consistency of the project with the socio-economic development policies of the developing countries.
- (2) JICA will identify the priority of the project in the sector to which the project belongs.
- (3) JICA will formulate the project implementation plan with clearly identified objectives so that the project itself will attain self-reliance and sustainable development even after its completion.
- (4) JICA will implement the project, giving full consideration to the socio-economic development level as well as to the culture and tradition of the partner countries and the regions where the project is to be implemented.
- (5) Through all phases of project planning, implementation, and post-evaluation, JICA will carry out the project with full attention to such global development issues as the environment, women in development, poverty and population. JICA will strengthen efforts for identifying and formulating projects related to environmental conservation in particular, and also give full consideration to the environment in implementing each project.
- (6) JICA will formulate the project implementation plan with as much active participation by local people as possible, grasping the needs of the true beneficiaries, who are identified through full consultation with the responsible people in the partner country.
- (7) JICA will strengthen coordination and cooperation with other Japanese governmental or non-governmental organizations related to development assistance, as well as aid agencies of other developed countries and multilateral aid organizations.
- (8) JICA will make every effort to produce the maximum benefit from each project, making appropriate and effective input of human and financial resources as well as technology.
- (9) JICA will manage the project in a comprehensive and consistent manner through all the phases of identification and formulation, appraisal, implementation, monitoring, and evaluation of the project in order to pursue more effective international cooperation.

III. Special Considerations for Project Identification and Formulation

In accordance with the principles in part II above, JICA will make every effort to identify and formulate the most appropriate projects, taking special consideration of the following clauses.

(1) Priority in Development Policies

JICA will make a feasible cooperation program, on the basis of such middle and long-term policies of its partner countries as priority of the candidate project in the overall socio-economic development policies and the financial support for the implementation of the project (If necessary, alternative proposals to the project should be prepared).

(2) Identification of Project Targets

Attainable targets and purposes should be set up with full awareness of the limit of resources available, including personnel and funds from the Japanese side and from the partner countries in the course of the project implementation, as well as in the period of self-sustained development after completion of the projects. The primary beneficiaries (the target groups) should be also clearly identified in this phase.

(3) Support for Self-Help Efforts for Development

JICA will encourage and support its partner countries to implement and manage JICA's cooperation projects by themselves by having participate as many people concerned in their countries as possible in the projects, so that the partner countries themselves would be able to maintain and promote the development of human resources, the research, development and extension of technology by making use of the technology and know-how transferred through JICA's cooperation.

(4) Emphasis on Sustainability

JICA will make every effort to plan projects which would not only achieve the original purposes of JICA's cooperation, but also sustain and develop their far-reaching impacts.

(5) Examination of Management and Organization

Detailed examination of the management capability of the executing agency in the partner country is required. The feasibility of collaboration and cooperation with related organizations should also be carefully studied.

(6) Financial Capacity

The financial capacity, necessary for implementation and management of the project, including that of bearing of recurrent costs should be fully studied.

(7) Identification of Appropriate Size and Technology Level of Projects

Realistic cooperation objectives and purposes consistent with the socio-economic level of development of the partner countries must be identified, including the content, size, technology level, and cooperation period of time of projects. Taking into account the financial capacity and technology level of the partner country, JICA will make every effort to make plans for appropriate technology transfer and facility construction.

(8) Respect for Society, Culture and Tradition of Partner Countries

A cooperation plan should be formulated with due respect for and in harmony with the partner country's society, culture, tradition and other factors.

(9) Measures to Meet Global Development Issues

In formulating cooperation project plans, preater attention should be paid to such global issues as the environment, women in development (hereafter referred to as "WID"), poverty and population. Further efforts should be made to formulate projects that address these issues.

Environment

- (a) From the initial stage of project planning, the impact on the environment should be taken into consideration, and every effort should be made to formulate the project in harmony with the natural environment.
- (b) To ensure the above mentioned approach, maximum efforts must be made to involve environmental experts from early stages of project planning.
- (c) Cooperation for human resources development and institutional development should be strengthened to improve the environmental management capability of the partner countries.
- (d) Cooperation for the conservation of the environment should be intensified.

Women in Development

- (a) In planning a cooperation project, more attention should be paid not only to the position of women as beneficiaries and promoters of development, but also to the participation of women in the development process.
- (b) To ensure the above mentioned approach, maximum efforts should be made to

involve WID experts from the early stages of project planning and to formulate projects, making further use of them.

- (c) Cooperation for training the people concerned with WID in the partner countries should be promoted.
- (d) Best efforts should be made to include the WID elements into the projects.

Poverty

- (a) From the early stages of project planning, poverty alleviation should be taken into consideration.
- (b) Cooperation for the improvement of welfare of the poor should be strengthened taking into account the economic gaps by region and by social stratum in the partner countries.

IV. Special Considerations for Project Implementation Stage

In addition to the considerations specified in Part III, the following considerations should be made at the project implementation stage according to the type of activities.

(1) Project-type Technical Cooperation

Project-type technical cooperation is a program which combines the following three activities for one project:

- 1) dispatch of experts, 2) training of overseas participants, and
 - 3) provision of related equipment.
- (a) An implementation plan of the project should be formulated, with full consideration of the position and role of the project in the socio-economic development policies of the partner countries.
 - (b) A feasible implementation plan should be formulated based on a full assessment of management capacity and organizational set-up of the agency responsible for the project in the partner country (If necessary, measures to strengthen the management capacity of the partner country should be studied and incorporated into the plan).
 - (c) An operation plan should be formulated according to the fully assessed financial capacity of the partner country to maintain and operate the project (If necessary, the size of the cooperation project should be reviewed, the possibility of JICA's support for local cost should be examined, and the

- results of these examinations should be incorporated into the operation plan).
- (d) The development goal of the partner country, as well as the objectives, size, content, results, and anticipated external conditions of the project should be identified. In implementing the project, it should be monitored properly and the whole process of the project should be managed in a comprehensive way.
 - (e) Prior to implementation of the project, JICA will identify the measures to be taken by the partner country, including budget allocation, assignment of counterparts, and cooperation with other organizations concerned. After thorough discussion with the partner country, JICA will request, if necessary, the country to take appropriate measures.
 - (f) A Record of Discussions (R/D) should be formulated taking into account the considerations mentioned in parts II, III and from (a) to (e) of Part IV-(1).
 - (g) JICA will monitor properly the progress of the project according to the content of the agreed R/D. If there are any problems which impede the smooth implementation of the project, JICA will examine appropriate measures including modification of the implementation plan.
 - (h) For more effective activities, JICA will endeavor, whenever necessary, to cooperate with other cooperation activities of Japan and with those of multilateral organizations and bilateral cooperation agencies of other countries.
 - (i) The progress of the project should always be monitored properly and in principle, a joint evaluation with the partner country should be carried out at the end of the project.

(2) Development Study

Development studies are conducted to propose plans and other information materials with JICA's partner governments can decide on the implementation of development projects.

- (a) The appropriateness of the study plan should be examined with full consideration of the position and priority of the study project in the socio-economic development policies of the partner country and the feasibility or effective utilization of its findings.
- (b) The development goal of the partner country as well as the objectives, size,

content, results and anticipated external conditions of the development study should be identified. In carrying out the study, it should be monitored properly and the whole process of the study should be managed in a comprehensive way.

- (c) To strengthen the environmental consideration, relevant screening and scoping should be carried out the stage of the preliminary study. Proper study of the project's impacts on the environment should be carried out at the stage of the full scale study.
- (d) Efforts must be made to transfer technology to counterparts in the partner country throughout the development study.
- (e) Prior to implementation of the development study, JICA will identify, as far as possible, the measures to be taken by the partner country for the execution of the study, including budget allocation, assignment of counterparts, and speedy customs clearance of necessary equipment. After thorough discussion with the partner country, JICA will request, if necessary, the country to take appropriate measures.
- (f) The Scope of Work (S/W) should be formulated taking into full consideration Parts II, III and from (a) to (e) of Part IV-(2).
- (g) JICA will make every effort to undertake the study according to the plan agreed in the S/W, and if there are any problems which impede smooth implementation of the study, JICA will take appropriate measures.
- (h) To improve the effectiveness of development studies, JICA will endeavor, whenever necessary, to cooperate with other cooperation activities of Japan and with those of multilateral organizations and bilateral cooperation agencies of other countries.

(3) Grant Aid Program

The grant aid program is a form of financial assistance offered to developing countries without imposing an obligation of repayment. In the execution of the grant aid program, JICA is engaged in two activities:

One is to conduct surveys before the grant aid is provided, including basic design studies, which are necessary for the construction of facilities and procurement of necessary equipment and materials. The other is to take necessary measures to expedite the execution of the project, such as construction of the facilities.

- (a) The development goal of the partner country, as well as the objectives, size, content, results and anticipated external conditions of the project should be identified at the time of the preliminary survey. Due consideration should be made so that the size and content of the facilities and other equipment to be provided will match the socio-economic conditions of the partner countries.
- (b) To secure smooth implementation of the project, JICA will fully discuss with the partner country during the preliminary survey, measures to be taken by the latter, including speedy procedures in the partner country, to receive a Japanese grant aid acquisition of construction site, budget allocation and speedy customs clearance of equipment and materials. In order to ensure the above measures, JICA will request te partner country, whenever necessary, to take appropriate and prompt measures (The result of the discussions should be summarized in the minutes).
- (c) With reference to the content of the Exchange of Notes (E/N) signed by the governments of Japan and its partner country, JICA will make every effort to ensure the smooth excution of the work, such as, construction of facilities according to the plan. If there are any problems which impede the smooth implementation of the project, JICA will take appropriate measures.
- (d) During the preliminary survey, JICA will examine the possibility of linkage between the grant aid project and technical cooperation including project-type technical cooperation, and will thus endeavor to promote efficient and effective use of constructed facilities and provided equipment, and to multiply the effect of grant aid.
- (e) At the completion of the project, a joint evaluation with the partner country should be carried out as far as possible. After the end of the project, appropriate measures for follow-up cooperation should be studied when necessary.

V. Special Considerations for Evaluation

The project evaluation is aimed at drawing lessons for further improvement of the quality of the cooperation project, by examining the relevance of the planning and by analyzing whether the implementation of the project have been efficiently undertaken and whether the expected results have been achieved.

The evaluation in the middle of the project period, the evaluation at the end of the project, and the ex-post evaluation should be carried out paying special attention to the following clauses.

(1) JICA will make every effort to carry out evaluations with the partner countries and other evaluations by outside specialists, in addition to the evaluations conducted by JICA itself, in order to obtain objective and reliable results.

(2) The evaluation will focus on the following basic items:

(a) Relevance

The relevance of a project refers to examination of the validity of selection and planning of the project.

(b) Achievement of Objectives

The achievement of the objectives of a project refers to judgement of the achieved results in comparison with the objectives initially set out. It also refers to analysis of the factors and conditions which led to the results.

(c) Efficiency

Efficiency of a project refers to evaluation of the means, methods, period, cost, and other factors required to realize the various results mentioned above.

(d) Sustainability

The sustainability of a project refers to evaluation of the self-reliance and sustained development of a project, from such various standpoints as management, economic and financial capacity, and technical level.

(e) Effect

The effect of a project refers to analysis of the impact of the project on the development of the partner country, including environmental and other social impacts.

(3) Useful information obtained as a result of evaluation in the middle of the project period, evaluation at the end of a project, and ex-post evaluation should be fed back in the planning and implementation of future projects.

VI. Follow-Up Cooperation

To increase the effectiveness of projects, efforts should be made to conduct follow-up cooperation, whenever necessary, according to the result of the above evaluation, in order to secure a sustainable effect of the project.



JICA